

北大ピアノクラブ
スプリングコンサート



2025年4月18日(金)
18:00 開場 18:30 開演
北海道クリスチヤンセンター

北大ピアノクラブ主催

ご挨拶

本日はお忙しい中、北大ピアノクラブのスプリングコンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。

北大ピアノクラブはピアノ好きな部員が集まるサークルで、週1回の例会と年数回の定期コンサートを通じて交流しています。今年度もコンサート等たくさんの活動を予定しております。少しでも興味のある方は、ぜひ例会等にお越しください。いつでも歓迎しています。

このスプリングコンサートは新歓コンサートでもあり、大学からピアノを始めてみたいという方でも楽しめるような有名曲が多いものとなっております。ご来場いただいた皆様が笑顔でご帰宅できるようなコンサートになることを心からお祈り申し上げます。

最後になりましたが、本日の開催にあたり、ご支援ご協力を賜った関係者皆様に感謝申し上げます。

北大ピアノクラブ 35代部長 渡邊晃心

お客様へ

開演に先立ちまして皆様にお願いがございます。

- ・会場内でのご飲食、ご喫煙はご遠慮ください。
- ・携帯電話や時計のアラームなど音の出る機器は、あらかじめ電源をお切りください。
- ・演奏者の許可のない録音・録画・写真撮影はご遠慮ください。
- ・演奏中の移動や会場の出入りはご遠慮ください。やむを得ず会場の外に出られる際は、係の者の指示に従ってください。
- ・会場内では、個人の判断により必要に応じたマスクの着脱をお願い致します。

全てのお客様に快適に演奏をお楽しみいただけますよう、ご協力をお願い致します

Program

【第1部】

1. Orangestar「DAYBREAK FRONTLINE」

経済学部経営学科 4年 内山颯(うちやまそう)

2. 久石譲「人生のメリーゴーランド」

農学部生物資源科学科 2年 大矢夏輝(おおやなつき)

3. ヨルシカ「ただ君に晴れ」

農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

4. 大森元貴「ライラック」

文学部 3年 名取泰河(なとりたいが)

5. Alan Menken「映画『The Little Mermaid』より Part of Your World」

医学部医学科 2年 北原樹(きたはらいつき)

6. YOASOBI「勇者」

医学部保健学科 2年 吉田彩花(よしだあやか)

7. 藤原聰「ミックスナッツ」

工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

【第 2 部】

8. ラフマニノフ「前奏曲 嬰ト短調 Op.32-12」

農学部生物機能化学科 2 年 宮入汐里(みやいりしおり)

9. バダジエフスカ「乙女の祈り」

理学部地球惑星科学科 4 年 原田光珠(はらだみつみ)

10. Scott Joplin「The Entertainer」

医学部医学科 2 年 清水陽介(しみずようすけ)

11. アルカン「12 ヶ月集:12 の特徴的な小品 Op.74 より『5 月-セレナーデ』」

理学院数学専攻 2 年 笹木元太(ささきげんた)

【第 3 部】

12. ハチャトウリアン「剣の舞」

工学院 1 年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

医学部保健学科 2 年 吉田彩花(よしだあやか)

13. 坂本龍一「Aqua」

理学部生物科学科 3 年 濱野健太朗(はまのけんたろう)

14. ショパン「プレリュード 第 15 番 変ニ長調 Op. 28-15 「雨だれ」」

ドヴォルザーク「8 つのユモレスク Op.101-7 B.187 第 7 番 変ト長調」

理学部地球惑星科学科 3 年 高橋優希(たかはしゆき)

15. ショパン「ポロネーズ第 6 番 変イ長調 Op.53 「英雄」」

工学部情報エレクトロニクス学科 2 年 加藤龍之助(かとうりゅうのすけ)

16. ショパン「舟歌 嬰ヘ長調 Op.60」

歯学部 5 年 青山翔(あおやましよう)

Introduction

1. Orangestar「DAYBREAK FRONTLINE」

経済学部経営学科 4年 内山颯(うちやまそう)

<曲紹介>

曲名を直訳すると「夜明けの最前線」となり、歌詞には「夜明け前」、すなわち苦境に立たされている人間に希望を与えるかのようなフレーズが多く含まれています。

私は現在就活に追われ、先の見えない暗闇の中にいるかのような気分を日々味わっています。

そんな私を支えてくれているのがこの曲と、パチスロです。

明日もこの曲を聴きながらパチ屋に向かっていこうとおもいます。あと内定がほしいです。

<他己紹介>

彼はお酒の美味しい新潟出身で、帰省するたびに地元の名産品である日本酒を筆者に買ってきてくれます。最近は上善如水におつまみの貝の缶詰をセットにして持ってきてくれました。聞いたところによると彼が実家でお母様に「デブの先輩に酒あげる」と言ったら缶詰を持たされたらしいです。なんて優しいのだ。

肝心なピアノの方は高校生までピアノ教室に通っていたと聞いたことがあります。が、一度もクラシックを弾いているところを見た事がないですよねえ！？でも、昔弾いたショパンの軍隊ポロネーズを卒業までにはコンサートで弾くと言っていたので、ラストイヤーの今年は期待できますね。

ちなみに、彼はピアノクラブ生糸のギャンブラー。Twitterをフォローしてパチスロの調子が良さそうなら飯に誘って奢ってもらおう！

2. 久石譲「人生のメリーゴーランド」

農学部生物資源科学科 2年 大矢夏輝(おおやなつき)

<曲紹介>

人生のメリーゴーランドはジブリ作品の「ハウルの動く城」の随所で使用されている曲です。華やかでノスタルジーな雰囲気を表現できるように頑張ります。

<自己紹介>

初心者ですが、頑張って弾くので楽しんで聞いてください！！

3. ヨルシカ「ただ君に晴れ」

農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

<曲紹介>

夜に浮かんでいた
海月のような月が爆ぜた

<自己紹介>

学業、生活、ピアノ、陸上、バイト、作曲、などなど……やりたいことは無限、腕と脚が2本ずつなんかじゃ足りません。

なんなら腕と脚じゃ飽き足らず、脳みそも追加で欲しいくらいです。

そう、我々はタコになるほかないのです。

その点あきみは非常に立派なタコです。

墨は出しませんが、変顔をよく出します。

本州にもよく足を伸ばしますが、タコなので空の旅は下手です。

未熟なタコである私が布団に根っこを生やしてゴーロゴーロしているようなとき、彼はピアノの練習をしていたり自炊をしていたりと腕を伸ばしています。とても努力家です。

バイト先でも、彼は非常に仕事がよくできるので、私がうかうかしていると先に仕事を取られ、圧巻のドヤ顔をされます。

後輩ながら、とても尊敬しています。彼のようなタコになりたいですね。

タコの紹介、タコ紹介……なんちって。

あんまり余計なことを書くと、札幌が寒いのは先輩のせいですよと言われかねないの
で、この辺で。

4. 大森元貴「ライラック」

文学部 3年 名取泰河(なとりたいが)

<曲紹介>

去年ずっとどこかで流れていたので知っている人も多いのではないでしょうか。イントロ
のギターフレーズが難しいので頑張って弾きたいと思います。

<自己紹介>

運転をすることが最近趣味になりつつあります。今年の目標は宴会で非常にスマートに振
る舞うことです。ピアノも頑張りたいと思っています。ナードリーとはもう呼ばせません。

6. Alan Menken「映画『The Little Mermaid』より Part of Your World」

医学部医学科 2年 北原樹(きたはらいつき)

<曲紹介>

今回はディズニー映画の「リトル・マーメイド」から「Part Of Your World」を演奏しま
す。

劇中では主人公のアリエルが地上の世界への憧れを歌い上げるシーンで使用されていま
した。彼女の希望に胸を膨らませる姿は、新たな生活を始める新入生の方や新たなことに
挑戦してみたいという方に重なる部分があるのではないでしょうか？私自身、最近ほとん
どピアノを弾いていませんでしたが、副部長という役職を拝命したこともあり、心を新た
に今回エントリーしました。こういったことを許容してくれるのもこのサークルの魅力の
一つだと思います。皆さんも私たちと一緒に新たな世界に踏み出してみませんか？お待ち
しています！！

<他己紹介>

北原さんはかなり特殊な経験を持つピアノクラブ35代副部長です。圧倒的な経験値で部長を支えピアノクラブを引っ張っています。特殊な経験とは書きましたが、その詳細を知ると彼がどれほど努力を重ねてきたのかよく分かります。筆者は彼のそういった一面を尊敬しています。彼の経験についてはぜひ本人に聞いてみてくださいね。

実は多くの部員は彼の演奏を聴いたことがありません。それどころか普段どんな曲を聴くのか、どんな作曲家を好んで演奏するのかすら知りません。つまり本コンサートで北原さんの演奏を聴くことができる私たちは非常に幸運なのです！心して聴きましょう！

（筆者は北原”さん”と書くべきか北原”くん”と書くべきか非常に悩みましたが北原”さん”と書きました。特殊な経験というのはまあ、そういうことです。）

5. YOASOBI「勇者」

医学部保健学科 2年 吉田彩花(よしだあやか)

<曲紹介>

みなさんおなじみ、葬送のフリーレンのOPです。みなさんフリーレンを見ましょう。

<他己紹介>

吉田彩花さんは、天真爛漫、破天荒、水生生物、打倒母親の大きなお友達です。

彼女は北広島出身で、エスコンフィールドを牛耳っている女マフィアでもあります。その姿はとても美しく、僕も吉田さんが妹だったらシスコンフィールドになってしまいそうです。

いつもなぜか窮地にいますが、平然と耐え凌いで帰ってきます。過去の経験なんでしょうか、ダメージを食らった後の復帰力が凄まじいです。

何をいっているかわからない皆様は、おもむろに吉田さんに右ストレートでもしてみてください。あなたが傷害で捕まります。

7. 藤原聰「ミックスナッツ」

工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

<曲紹介>

言わずと知れた official 髪男 dism の名曲「ミックスナッツ」のピアノアレンジ ver.を弾きます。楽譜はネットに転がってたやつです。採譜はしねえぞ！めんどくせえんだ！

この楽曲はアニメ「spy×family」のオープニングテーマとして書き下ろされた曲です。主人公は敏腕スパイ、黄昏。殺し屋のヨル、エスパーのアーニャとともにフォージャー家という仮初めの家族を作つて暮らす、という設定です。有名な作品なので説明も不要でしょう。温かい家庭をテーマとした作品で、冷たい社会を生きる現代人にストライクしたようですね。う～ん、闇深し。

ミックスナッツという曲名は、アーニャの好物がピーナッツであることから着想を得ています。そこから、たくさんの木の実（ナッツ）がある中で地中に身を隠すピーナッツと、敵国で「かりそめの」家庭を演じる黄昏を重ねて描かれています。歌詞の中にも「ありのままではいられない」「隠し事」など、秘密の多いフォージャー家を表すワードが多く登場します。

サウンドについても説明します。序盤から堰を切ったように音が溢れ出し、スピード感を持ったまま颶爽と A メロに入ります。楽曲のテンポは BPM 300 (150 の倍取り)。このスピード感の上にジャズやスカのエッセンスが盛り込まれた、かなり高度な音楽性を持っている…らしいです。正直難しいことはよくわかりません。でもジャズっぽくていいよね。お洒落。

フォージャー家のドタバタ感が上手く表現されるよう、頑張って弾いてまいります。なんか難しそうな曲だし、黄昏さん代わりに弾いてくれないかな…まあミスを指摘してきた方はヨルさんに「お掃除」してもらいましょうか…

で、なんでこのタイミングでミックスナッツなのかというと……そう、アニメ「spy×family」season 3 が 2025 年 10 月に放送されるということなんですね。私も楽しみにしています。でもあれ、私の家テレビ見れなくね…？

<他己紹介>

今回の他己紹介は X の AI である GROK さんにお願いしてみましょう。GROK さん！「りょたろ(@milkandchris)の投稿から彼の人物紹介をしてください」

GROK さん：

りょたろ(@milkandchris)の X 上での投稿を基に、彼の人物像を紹介します。2025 年 4 月 8 日時点でのアカウントを調査したところ、具体的な個人情報（年齢、職業、出身地など）は明かされていませんが、投稿内容からいくつかの特徴が浮かび上がります。

りよたろはカジュアルで親しみやすいトーンで投稿しており、日常の出来事や趣味に関する話題を気軽にシェアする傾向があります。最近の投稿では、音楽やアニメ、ゲームといったポップカルチャーへの関心が垣間見られ、特に日本のサブカルチャーに親しんでいる様子が伺えます。例えば、アニメのワンシーンやゲームのプレイ感想をつぶやくことがあり、フォロワーとの軽いやりとりも楽しんでいるようです。また、ユーモアを交えた表現や絵文字を多用することから、明るくフレンドリーな性格が推測されます。

彼の投稿頻度はそれほど高くなく、日常の中で思いついたことをぽつぽつと発信するスタイルです。深い議論や政治的な話題よりも、身近でライトな内容が中心で、フォロワーとの距離感を大切にしている印象を受けます。ハンドルネーム「milkandchris」からは、ミルク（柔らかさや優しさ）とクリス（おそらく名前の一部や好きなキャラクターネーム？）を組み合わせた、個性的で親しみやすいイメージを意識している可能性があります。

総じて、りよたろ(@milkandchris)は、日本のサブカルチャーに興味を持つつ、気取らない日常をつぶやくことでフォロワーと緩やかにつながる、一般的なXユーザーと言えるでしょう。

……以上、GROK さんからの紹介でした。ちなみにミルクとクリスは、昔飼っていたポメラニアンの名前です。毛の色が白かったんで「ミルク」、クリスマスに生まれたんで「クリス」。……別にいいじゃないですか、犬の名前なんてそんなもんでしょう。（今は二匹とも、虹の橋の前でしっぽ振って待っています。）

8. ラフマニノフ「前奏曲 嬰ト短調 Op.32-12」

農学部生物機能化学科 2年 宮入汐里(みやいりしおり)

<曲紹介>

ラフマニノフの前奏曲集の中で最も広く親しまれている曲です。冒頭の右手の分散和音は雪でおおわれた大地をソリが鈴を鳴らしながら走る様子を表しているようです。曲を通して分散和音に対して、旋律は豊かな音で、たっぷりと歌うところが聴きどころです。

<自己紹介>

本日演奏する曲は高校生の時に一度弾いたお気に入りの曲です。今回は昔より大人な演奏ができるように頑張ります！

9. バダジエフスカ「乙女の祈り」

理学部地球惑星科学科 4年 原田光珠(はらだみつみ)

<曲紹介>

バダジエフスカといえばこの曲、というか筆者はこの曲しか知りません。個人的にオクターブが苦手なので練習したかったのもあり、弾くことにしました。

<自己紹介>

ちわくわくわくの4年生。みつみさん。

見た目はしっかりしてそう(?)。中身は大雑把、細かいことは気にしない性格です。播州出身であることをネタにしているようですが正直そこまで播州の人感はナイ。アンダーアーマーが大好きで年中アンダーアーマー姿が見られます。

彼女は普段ピアノ、バレエ、スケートとなかなかのハードスケジュールをこなしています。筆者もそのスタミナには尊敬。すごい。そのせいか、地惑関連の質問をしても大体はにゃ?と返って来ます。勉強してる……よね?

あと、最近はお菓子作りもやっているようで美味しいタルトとかケーキとか作ってましたね。

そんななんでも出来るみつみさんの欠点と言えば、物をすぐ失くすところでしょうか。この間雪の中で失くした財布は今ごろ豊平川のサケの餌になっていることでしょう。

さて、今日は何の曲を弾いてくれるのでしょうか。楽しみですね。

10. Scott Joplin「The Entertainer」

医学部医学科 2年 清水陽介(しみずようすけ)

<曲紹介>

「The Entertainer」はアメリカの作曲家スコット・ジョプリンによって1902年に作曲されたラグタイムのピアノ曲です。愉快な曲ですよ。。

<自己紹介>

暇人です。誘ってくれたら行きます。

11. アルカン「12ヶ月集:12 の特徴的な小品 Op.74 より『5月-セレナーデ』」
理学院数学専攻 2年 笹木元太(ささきげんた)

<曲紹介>

今回私が演奏する 12ヶ月集はアルカンが 1838 年に出版した 6 つの性格的小品集をベースに 1840 年に 6 曲追加して完成された曲集です。12 番までの通し番号が各月に対応しています。今回は北大ピアノクラブ 35 周年記念コンサートで演奏した 11 月、ウィンターコンサートで演奏した 12 月に続き 5 月を演奏いたします。5 月は「セレナーデ」という副題がつけられた夜をイメージして作られた優美で穏やかな曲です。親しみやすいメロディの第一主題と繰り返されるたびに装飾が華やかになってくる第二主題の繰り返しが心地よい曲です。2 分程度の短い曲ですがお楽しみいただければと思います。

聴きにきてくれた新入生へ

好みがニッチすぎて周りに話の合う人が今までいなかった...という方の入部を笙木は心よりお待ちしております！

近現代～現代もウェルカムです！ぜひ例会に楽譜を持ってきて下さい！語り合いましょう！

<自己紹介>

ピアノクラブの常連、笙木さん。例会、コンサート、旅行とあらゆるイベントにおいて高い出席率を誇ります。

特にコンサートには、年 7 回ほどもあるにもかかわらず入部以降すべて出演しています。2ヶ月に 1 曲は仕上げなければならない計算になりますが、これを学業、就活と並行して成し遂げているのはすごいです。

また、ここ 2 年ほどはアルカンという作曲家の作品に取り組んでいます。あまり知られていない作曲家ですが、最近流行の波が来ているのだとか。技術的に非常に難しい曲が多く本当に弾くのが大変そうです。しかし毎回、マイナー曲を自分の演奏で広めるぞという気概を感じる高い完成度の演奏を披露してくれます。今日の演奏もお楽しみに！

追記: よく食べよく呑む笙木さんですが、健康には気をつけていただきたいところです。まずは健康診断の D 判定をなくすところから！(^▽^)

12. ハチャトゥリアン「剣の舞」

工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

医学部保健学科 2年 吉田彩花(よしだあやか)

<曲紹介>

運動会でおなじみ（？）剣の舞を連弾で演奏します。作曲はハチャトゥリアン。なんかどうらい名前してますね。噛みそうです。ナレーションの方、ごめんなさい。

ハチャトゥリアンはプロコフィエフ、ショスタコーヴィチと並んでソ連の三巨匠とも称されますが、実際はジョージア育ちのアルメニア人だそうです。ほなソ連の巨匠ちゃうやん。アルメニア語でハチャトゥリアンは「Խաչատրյան」って書くそうです。確かにキリル文字じゃない…。

そんなハチャトゥリアンですが、なんとアルメニアの50 ドラム紙幣には彼の顔が描かれているそうです。先日このサークルの卒業生である「シャングリラ G」とそのゆかいな仲間たちで置戸の「お金の博物館」に行ったのですが、「作曲家の書かれてる紙幣とかないのかなあ～w」といってポーランドやらオーストリアやらドイツやらの紙幣を色々見て、「無いねえ～w」ってなったばかりだったのです。ハチャトゥリアン…お前だったのか…。

あ、お金の博物館はジンバブエドルやら和同開珎やら、いろいろあっておもろかったです。暇すぎて死にそうだったら、一緒に行ってついでに紋別でかまぼこ食って帰りましょう。おいしいよ。…………Σ(°Д°)ハッ 曲紹介…！

てことで話を戻します。剣の舞は「ガイース」というバレエ作品の最終幕に登場する曲です。場面としては、事件解決後の祝福として繰り広げられる「湾刀（サーベル）をもったクルド人の踊り」を描いています。祝福にしては忙しい曲だなって感じですが……それもそのはず、この曲は「ガイース」初演の前日に「一曲追加で！」といわれ、ハッチャンが徹夜で書いた曲だそうです。クルド人の踊りですが、メロディのモチーフにはアルメニアの民謡が使われています。ホントに余裕なかったんでしょうね……。

新入生の皆さん。特に理系の人たちはこれからたくさんレポートを書くことになります。締め切り前夜に「やべえ」ってなることがあったら、頭の中でこの曲を流してやりましょう。「オレも頑張ったんや」とハッチャンが応援してくれる筈です。

ちなみに全ツ然譜読みしてないんだけど、これはハッチャンコースか…？

13. 坂本龍一「Aqua」

理学部生物科学科 3年 濱野健太朗(はまのけんたろう)

<曲紹介>

坂本龍一による作品。

シンプルでありながらも美しく、透明感のあるメロディとハーモニーが魅力。

<自己紹介>

こんにちは。濱野です。大阪で生まれ、中高は長野で過ごしました。

ピアノは高校に入ってから今まで続けています。

本サークルには一年生の後期に参加し、個性豊かで面白い部員たち（およびその中の一部クラシックオタク）の刺激を受けながらピアノの魅力、クラシックの魅力にだんだんと引き込まれています。

今年は筋肉質になりたいです。

よろしくお願ひします。

14. ショパン「プレリュード 第15番 変ニ長調 Op.28-15 「雨だれ」」

ドヴォルザーク「8つのユモレスク Op.101-7 B.187 第7番 変ト長調」

理学部地球惑星科学科 3年 高橋優希(たかはしゆき)

<曲紹介>

ショパンのプレリュード(前奏曲)は、24の全ての調を用いて作曲されました。今回弾く15番「雨だれ」は、変ニ長調ですが、中間部で嬰ハ短調に変化します。ショパンがなかなか帰ってこない恋人サンドを待ちわびながら作曲したと言われています。最初から最後まで続くラ♭(ソ♯)の雨だれの音をバックに、メロディをお楽しみください。

ドヴォルザークのユモレスク集は、全部で8個の曲からなります。ドヴォルザークは、1894年の夏にこの曲集を作曲し、楽譜を出版しました。曲集の名前が「ユモレスク(ユーモレスク)」となったのは、楽譜が出版される直前の事だったそうです。今回演奏する第7番はユモレスクの中で一番有名だと言われています。楽しげなメロディをお楽しみください。

<自己紹介>

最近は自己紹介を誰かに書いてもらうことがほとんどだったので、久しぶりに自己紹介を書きたいと思います。

理学部地球惑星科学科 3 年の高橋優希です。

出身は東京です。よく東京観光でどこに行ったらいいのか聞かれますが、私にはよく分かりません 😅 (浅草とかでしょうか？個人的には銀座や日本橋あたりを歩いたのは楽しかったです。あとは国立科学博物館も楽しかったですよ。)

ただし、夏に東京に行くのはお勧めしません。暑すぎて死にます。(個人的には東京の夏は 4 月下旬～10 月頭くらいだと思ってます。)

4 人きょうだいの 1 番下で、姉 2 人と兄が 1 人います。よく末っ子ムーブをかますのはそのせいです(たぶん)

ショパンやベートーヴェンの曲が好きです(といっても詳しいわけではなく、さらにあまり弾けないので気に入ったのを聴くばかりですが…). ポップスだと YOASOBI の曲が好きです(こっちも聴くのばかりですね)。コンサートにはたまーに出てます。1 年の 9 月にフレッシュマンコンサートでショパンのワルツ 2 番を弾いて、34 期部長から「どこからあの曲見つけてきたの！？」と言われたのを覚えています。(それと同じことを最近は私も彼に對して思っています。)

気づいたら長々と書いてしまってましたが、これで少し私のことを知っていただけたら嬉しいです。

拙い演奏ですが、楽しんでいただけましたら幸いです。

15. ショパン「ポロネーズ第 6 番 変イ長調 Op.53 「英雄」」

工学部情報エレクトロニクス学科 2 年 加藤龍之助(かとうりゅうのすけ)

<曲紹介>

この曲は 1842 年に作られました。「ポロネーズ」とはフランス語で「ポーランド風の」を意味します。当時ポーランドは地図上から消えた国家であり、パリには亡命したポーランドの文化人たちが終結していました。聴衆はショパンの音楽の本質に「ポーランドらしさ」を求めていたため、この曲が誕生しました。

<自己紹介>

2 年会計の加藤龍之助です。新入生の皆さん入学おめでとうございます。ピアノクラブではクラシックだけでなく、J-pop なども演奏されています。年 6～7 回のコンサートと 3 回の旅行もあり、イベントが盛りだくさんです。もし興味があれば、週 1 回の例会(新歓)に参加してみてください！ちなみに、私はこのサークルのゆる~いところが大好きです。

16. ショパン「舟歌 嬰ヘ長調 Op.60」

歯学部 5年 青山翔(あおやましょう)

<曲紹介>

舟歌(バルカラーレ)のリズムは船の動きを連想させる 6/8 拍子で書かれますが、ショパンはこのリズムを 12/8 拍子に引き伸ばし、曲の旋律線を長くすることで、メロディをより流暢に歌わせ劇的な広がりを表現しています。その効果を活かし、この舟歌は抒情的な陰影を漂わせながら、優美で煌びやかな 3 つの主題で構成されます。繰り返される転調の中、徐々に情熱的な感情が姿を現します。中部～終盤にかけて主部の再現の後、クライマックス部分では中間部での新主題が輝きを増して歌い上げられます。最後は解放的で希望に満ちたコーダでクライマックスを迎えます。

<自己紹介>

こんにちは。昨年のウインターコンサートでも舟歌を演奏しましたが、今回のスプリングコンサートで演奏予定だった曲が間に合わなかったため舟歌をもう一度弾くことにしました。前回より丁寧に演奏します。

～今後のコンサート～

♪. 榆陵祭(北大祭)

日時：6月6,7,8日(金,土,日)
ミニコンサート開催&ストリートピアノ設置 予定

♪. サマーコンサート

日時：8月18日(月) 開場開演：未定
SCARTS コート

♪旧帝大コンサート

日時：9月13,14日(土,日) 開場開演：未定
伊都キャンパス椎木講堂（九州大学）

♪フレッシュマンコンサート

日時：9月下旬頃 開場開演：未定
クラーク会館 講堂

♪オータムコンサート

日時：10月頃 開場開演：未定
クラーク会館 講堂

♪ウィンターコンサート

日時：12月20日(土) 開場開演：未定
ルーテルホール



HOKUDAI PIANO CLUB

Mail : hokudaipc2025@gmail.com

Instagram : @hokudai_piano

X(旧 Twitter) : @hokudai_piano

Website : <https://university.secret.jp/>